

「話のたねのテーブル」より

ススキとオギはどこが違うの？

廣田伸七

「おれは河原の枯れススキ、同じお前も枯れススキ…」と船頭小唄に歌われているのは、本当にススキなのか、オギではないのだろうか。この歌は利根川が舞台になっている。利根川の河原にはススキもはえているが、両岸に圧倒的に多くはえているのはオギなのだが…。これをめぐって酒の席で論争になったと、明治生まれの老植物学者から聞かされたことがある。

ススキもオギも茎や穂の形が非常によく似ていて、少し遠くから群落を見ただけでは、どちらなのか分からない（写真-1, 写真-2）。

両者の見分け方は株元を見ることである。ススキの場合は、一面に群生している場合で

も、株は大きくとも、一株ひと株は別々に連結してはいない。また、茎は叢生しているが、茎が分枝して枝を出すことはない（写真-3）。一方、オギの場合は叢生して大群落をつくるが、株になることはない。地中に地下茎を四方八方に伸ばし、節々から1本ずつ茎を単立し、けっして株にはならない（写真-4）。またオギはときに茎の節から竹のように小枝を出すものもある。

近寄って見て、株になっているのはススキ。いくら密に群生してはいても1本の茎が単立していて株になっていないのがオギ。いちど近寄って確かめてみてはいかがでしょうか。

（話のたねのテーブルNo.203より）



▲写真-1 ススキ



▲写真-2 オギ



▲写真-3 ススキ



▲写真-4 オギ

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 理事長 小川 奎
発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成25年2月発行定価525円(本体500円+消費税25円)
植調第46巻第11号

(送料270円)

印刷所 (株)ネットワン